

岡山県内医療機関でがん治療を受けられた 患者さま及びそのご家族の方へ

―「岡山県医療機関のがん患者に対する緩和ケア実施状況調査」

へのご協力をお願い―

研究機関名 岡山済生会総合病院、岡山済生会総合病院附属外来センター
研究責任者 緩和ケア科 石原 辰彦

主幹施設研究責任者 岡山大学病院 緩和支援医療科 教授 松岡順治

1. 研究の概要

1) 研究の背景および目的

現在国が主導で行われているがん対策では、がん患者さまの療養生活の向上を目指して、がんを診察している全ての医師に対して緩和ケアの研修を受けて、がんを診療する病院や診療所が患者さまに必要な緩和ケアを提供することを目指しています。このようながん対策が開始されて約10年経過しましたが、現在でも緩和ケアについての活動はその医療機関によりまちまちで、効果的な緩和ケアの提供、がん患者さまの療養生活の向上に結びついていないとされています。そこで、今回県内の医療機関でがんを診療している医療者やそこへ受診しているがん患者さま、そのご家族について、緩和ケアに関するアンケート調査を行い、どのような緩和ケアを提供すればがん患者さまの療養生活の向上につながるかを検討することとしました

2) 予想される医学上の貢献及び研究の意義

このアンケート調査をもとに検討し、今後の県内医療機関で緩和ケアを効果的に普及させて、がん患者さまの受ける医療の質を向上させることを考えています。

2. 研究の方法

1) 研究対象者

現在岡山大学病院および共同研究機関でがん診療を行っている医療者（190名）およびそこでがん診療を受けているがん患者さまとそのご家族（750名）を対象とします。当院では、医療者60名、がん患者さまとそのご家族200名を対象としています。

2) 研究期間

平成28年11月11日～平成29年3月22日

3) 研究方法

上記のアンケートを配布後、平成28年12月31日までにアンケートに記入して投函してください。アンケートは岡山大学病院の事務局で回収した後に外部委託業者が集計し、医療機関や医療者のデータと合わせて分析します。

4) 情報の保存、二次利用

この研究に使用した情報は研究終了後5年間は岡山大学病院緩和支援医療科で保存させていただきます。

電子情報の場合はパスワード等で制御されたコンピューターに保存し、その他の情報は施錠可能な保管庫に保存します。基本的にこのデータを二次利用することはありません。

5) 研究計画書および個人情報の開示

今回分析したデータは、岡山県のホームページで閲覧できる予定としています。この際個人情報の開示は行いません。また、この研究のデータを個人情報が特定できない形にして学会や論文で発表する予定がありますので、予めご了承ください。

この研究にご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。また、アンケートの回答をもって同意とみなしますので、あなたの情報が研究に使用されることについてご了承いただけない場合にはアンケートに返信していただくことなく構いません。この場合も診療など病院サービスにおいて患者の皆様が不利益が生じることはありません。

<問い合わせ・連絡先>

連絡先：岡山大学病院 緩和支援医療科
電話：086-235-6039(高下、蓮岡)
(平日9：00～17：15)

岡山済生会総合病院担当者
緩和ケア科 石原 辰彦
電話：086-252-2211 (大代表)
(平日9：00～17：15)